

田川市立病院
第3期（令和元年度～4年度）計画期間における
業務実績に関する評価報告書

令和5年8月

田川市立病院評価委員会

はじめに

田川市立病院評価委員会は、第3期計画期間（令和元年度～4年度）における業務実績に関する評価を実施した。

評価は、「Ⅰ 評価の方法」に基づき、「大項目評価」を行った後、「全体評価」を行った。

（田川市立病院評価委員会委員）

	氏 名	職 名
委 員 長	柴 田 洋 三 郎	福岡県立大学 学長
副 委 員 長	岡 部 浩 司	田川医師会 会長
委 員	是 永 大 輔	中津市 病院・診療所 事業管理者
	尾 形 由 起 子	福岡県立大学看護学部 教授
	佐 藤 元 治	公認会計士
	上 村 晋 司	元田川地区消防署長

I 評価の方法

1 全体評価

「大項目評価」の結果を基本に、次の2つの視点を踏まえて総合的に判断し、5段階の区分で評価を行う。

○目標指標の達成状況

別紙1「第3期中期事業計画 目標指標に係る目標値および各年度の実績値」に基づく、大項目ごとの達成状況

○収支計画の実績

別紙2「第3期中期事業計画 収支計画の実績」に基づく、医業収支比率および経常収支比率の状況

2 大項目評価

各事業年度の大項目評価の結果を基本に、4年間の特筆すべき取組を踏まえて、5段階の区分で評価を行う。

（評価区分）

「全体評価」および「大項目評価」は、次の5段階の区分で評価を行う。

区分	計画の評価
S	中期計画を大幅に上回り、特に評価すべき達成状況となった
A	中期計画どおり達成した
B	中期計画を概ね達成した
C	中期計画を十分に達成しなかった
D	中期計画を大幅に下回った

Ⅱ 全体評価

第3期計画期間の評価結果（全体評価）「中期計画を概ね達成した（評価B）」

(1) 大項目評価

第3期計画期間における大項目評価については、P3～P5に示すように、全ての大項目を「B評価」と判断した。

(2) 目標指標の達成状況（詳細はP6～P7「別紙1」参照）

1 田川市立病院の果たすべき役割

- ・目標指標48項目のうち達成数は13項目で、達成率は27.1%となった。
- ・達成した指標は、「紹介率・逆紹介率」「医療機関訪問件数」「医療従事者や介護従事者向けの研修会の開催数」などの地域連携に係る指標が多く、「救急応需率」「手術件数」「入院患者数」などの感染拡大時の診療制限等の影響を受けた指標については、多くが未達成となった。
- ・未達成の指標のうち、「循環器内科医師数」「訪問診療件数」など11項目については、平成30年度の実績と比べて一定の向上は図られた。

2 三方よしの病院運営 ～患者によし、住民によし、病院によし～

- ・目標指標40項目のうち達成数は11項目で、達成率は27.5%となった。
- ・達成した指標は、「医療安全対策」「医療相談件数」「認定資格取得者数」などの職員の資質向上が成果に繋がった指標が多く、患者数に影響する「病床稼働率」「医業収益」などの経営に係る指標は多くが未達成となった。
- ・未達成の指標のうち、「常勤医師数」「働き方改革の推進」などの9項目については、平成30年度の実績と比べて一定の向上は図られた。

3 ウィズコロナの病院運営 ～持続可能な経営に向けて～

- ・目標指標は1項目「1日あたり入院患者数183人」のみだったが、新型コロナウイルス感染症への対応等から1日あたり150人に留まり、達成率は0.0%となった。

4 再編・ネットワーク化

（目標指標なし）

(3) 収支計画の実績（詳細はP8「別紙2」を参照）

令和2年度以降、第二種感染症指定医療機関として感染症診療の提供をはじめ感染対策の実施等により、一般診療を制限せざるを得なくなり医業収支が悪化。医業収支比率は80%台となった一方で、感染症関連の補助金支援により経常収支は110%前後と黒字幅が拡大した。

○決算の推移

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度（見込）
医業収支比率	93.5%	94.8%	81.7%	85.9%	82.9%
経常収支比率	100.1%	100.2%	110.8%	114.9%	109.7%

（参考）収支計画 ※令和元年度作成時

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
医業収支比率	93.5%	94.5%	96.3%	96.2%	97.3%
経常収支比率	100.1%	99.0%	99.7%	100.7%	101.4%

Ⅲ 大項目評価

1 田川市立病院の果たすべき役割

第3期計画期間の評価	事業年度評価結果			
	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
B	B	B	B	B

【特筆すべき取組】

- ①令和元年度から救急車不応需の分析と応需率の向上対策などに着手。
令和2年度以降、感染対策による応需率の悪化への改善に注力。救急外来の処置室の増設や処置室の確保対策（PPE着用のルール見直しなど）に取り組むが、クラスター防止を優先とした対策から応需率の改善には至らなかった。
- ②循環器医療や緩和ケア医療の充実に特に取り組んだ。循環器内科では医師確保のため大学訪問などに注力し常勤医の段階的な増員の目途が立った。また、緩和ケア医療では田川地域にない緩和ケア病棟を令和5年4月に開設することとした。
- ③地域の医療機関との信頼関係の醸成として、計画的な医療機関の訪問のほか、紹介の不応需事例の分析と改善、紹介依頼時の対応時間の短縮、返書の徹底などに取り組んだ。
- ④地域の医療従事者の育成支援として、令和元年度から各診療科医師によるオープンカンファレンス（原則毎月）や認定看護師によるセミナー（年4回）を開始した。また、令和3年度から、福岡県立大学の特定行為研修の協力施設として、実習指導を開始した。
- ⑤予防医療の充実に向けて、令和元年度から住民を対象に健康講座を開始（原則毎月）。また、生活習慣病などの健康に係る情報発信や健診・検診の内容の充実などを図った。

（参考：新たに実施した取組）

- ・地域に必要な医療
 - 救急医療：不応需事例の分析や対策の実施、全職員にBLS研修を実施（R1）
救急処置室を1室増設（R3）、ICLS研修の実施（R4）
 - 循環器内科：常勤医が1名増員、休床中の2階東病棟を循環器患者対応のため再開（R4）
 - 緩和ケア医療：緩和ケア内科医が1名赴任（R2）
職員・外部医療者・介護施設関係者を対象とした緩和ケア研修を開始（R2）
緩和ケアに関する季刊誌「花みずき通信」の発行開始（R3）
緩和ケア病棟の設置が令和5年4月に決定（R4）
 - 腎・透析医療：SDM外来の開始（R3）、月1回の「腎臓病教室」を開始（R3）
腎代替療法専門指導士を3名認定（R4）
- ・医療連携の推進：紹介の不応需事例や電話対応時間、返書の徹底などの改善対策を開始（R1）
- ・医療従事者研修の充実：オープンカンファレンスを月1回、認定看護師セミナーを年4回の開始（R1）
福岡県立大学の特定行為研修の協力施設として実習指導を開始（R3）
- ・予防医療の充実：みんなの健康講座を月1回開始、健診・検診の診療体制や運用を強化（R1）
特定保健指導の開始（R2）
生活習慣病予防に関する月刊誌「かめ吉通信」の発行開始（R2）
胃内視鏡検査の開始（R3）
一般健診の自己負担額を近隣病院と同程度まで減額（R4）

2 三方よしの病院運営 ～患者によし、住民によし、病院によし～

第3期計画期間の評価	事業年度評価結果			
	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
B	B	B	B	B

【特筆すべき取組】

- ①医療支援センター相談室の機能強化を図るため、相談業務スキル向上の勉強会（月2回）の実施や行政（福祉事務所等）との連携に努めた結果、相談対応件数は大幅に増加した。
- ②教育環境では、学会・研修会への参加の推進や専門資格の取得・更新に対する補助のほか、育成塾（事務長・薬局長）等の外部の長期研修を導入し、職階・職種に必要な教育を推進した。
- ③充実した職場環境づくりのため、職種等に応じた処遇の改善に努めるとともに、職員提案をしやすいように職員提案制度を正式に創設した。
- ④広報活動では、ホームページやSNS（Facebookなど）、広報誌等の内容充実のほか、医療連携だよりの定期発行、デジタルサイネージの設置など、情報発信の強化を図った。
- ⑤経営の効率化として、病院運営方針に沿って部署目標を毎年設定し、中期計画の計画的な実行を図った。また、経営分析ソフト「ダッシュボード χ 」の導入やTQM活動の活用、エコ推進運動など、収益向上と費用削減の対策に取り組むとともに、職員の経営意識向上に努めた。

（参考：新たに実施した取組）

- ・患者相談体制の充実：医療支援センターで相談業務スキル向上の勉強会（月2回）を開始（R2）
- ・職員の教育推進：看護部の階層別研修にeラーニング研修やI Vナース研修を導入（R2）
外部の長期研修の導入（日本病院経営支援機構育成塾、九州大学大学院医学研修院医療経営管理学講座など）（R3）
専門資格の新規取得及び更新に要する補助を開始（R3）
特定行為認定看護師の認定（R3：3名、R4：1名）
- ・職場環境の充実：通勤手当・住宅手当を国家公務員に準拠した体系に見直し（R1）
薬剤師手当の新設（R2）
看護職及び薬剤師以外の医療技術職の処遇改善の実施（R3）
職員提案制度の創設（R3）
- ・情報発信の強化：ホームページのリニューアル、Facebook及びInstagramの開始（R1）
医療連携だよりの発行開始（R2：毎月、R4：年4回に変更し内容充実）
デジタルサイネージを外来周辺4か所に設置（R4）
- ・経営の効率化：目標管理の開始（病院運営方針に沿った部署目標の策定と進捗管理）（R2）
TQM活動の開始（R2）
経営分析ソフト「ダッシュボード χ 」による経営分析と改善を開始（R3）
経営新聞の毎月発行、経営状況の見える化（R3）

3 ウィズコロナの病院運営 ～持続可能な経営に向けて～

第3期計画期間の評価	事業年度評価結果			
	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
B	B	B	—	—

【特筆すべき取組】

- ①第二種感染症指定医療機関として、令和2年3月から新型コロナ感染症患者の受け入れ開始。感染症病棟に係る専従の医師・看護師など診療体制の確保・充実に努めた。また、クラスター防止に向けて、感染対策（感染拡大時の診療制限など）の徹底を図った。
- ②患者や住民の不安を和らげるため、市立病院の感染対策の取組をホームページや広報誌等でわかりやすく発信するとともに、感染症に係る最新情報等の発信に努めた。
- ③復興プロジェクトを設置し診療実績の改善に取り組んだ。R2年度：復興方策43項目を打ち出し対策実施、R3年度：職員から収益向上、経費節減等の提案を募集。62提案のうち採択の25提案を実施。R4年度：救急対応や手術枠など、診療現場で問題となっている点の検討・改善。

（参考：新たに実施した取組）

- ・新型コロナ感染症への対応
 - 感染症診療の体制・運用の整備（医師、看護師の配置）と感染対策の実施（R2）
 - 感染対応に係る職員手当の新設（R2）
 - 感染症専門医の確保（R3）
 - 感染管理認定看護師の増員（R4）
- ・復興に向けた対策
 - 復興プロジェクトの設置（R2）
 - 経営・財務マネジメント強化事業への参加（R3）

4 再編・ネットワーク化

第3期計画期間の評価	事業年度評価結果			
	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
B	B	C	C	B

【特筆すべき取組】

- ①令和4年度の田川地域医療機関ネットワーク化協議会において、「地域医療連携推進法人制度」の活用について意見交換を行い、令和5年度から検討を進めることが決定された。

（参考：新たに実施した取組）

- ・地域医療連携推進法人制度の講演会開催：協議会主催（R1）
- ・地域医療連携推進法人制度の講演会開催：市立病院主催（R4）

第3期中期事業計画 目標指標に係る目標値および各年度の実績値

別紙1

：中期目標を達成した項目
：中期目標を達成できなかったが、H30年度よりは改善した項目
：中期目標を達成をできず、H30年度よりも悪化した項目

Ⅰ 田川市立病院の果たすべき役割													
項目		目標指標	単位	目標値 (※:見直し後)	実績値				H30年度 (参考)	R4年度実績値との差			
					R4年度	R3年度	R2年度	R元年度		目標値	H30年度		
(1)地域医療構想を踏まえた役割													
1) 病床機能のあり方		指標なし											
(2)選ばれる病院の創造													
1) 地域に必要な医療	断らない医療の実現	救急車応需率	%	95.0	54.3	59.7	86.4	88.5	90.3	△ 40.7	△ 36.0		
		救急外来応需率	%	99.0	99.2	99.0	99.0	98.9	—	0.2	—		
		紹介患者応需率	%	99.0	85.9	84.0	91.7	94.1	98.4	△ 13.1	△ 12.5		
	救急医療の充実	救急外来患者数	人	※ 6,500	3,429	3,313	3,618	5,469	6,132	△ 3,071	△ 2,703		
		救急車受入件数	件	※ 2,000	1,209	1,021	1,313	1,490	1,634	△ 791	△ 425		
	循環器内科の再建	常勤医師数(年度末)	人	3	2	1	1	1	1	△ 1	1		
		循環器内科 新入院患者数	人	※ 1,100	370	299	321	427	637	△ 730	△ 267		
		心臓カテーテル検査数	件	※ 550	189	125	164	211	400	△ 361	△ 211		
		心臓カテーテル治療数	件	※ 135	68	54	42	67	118	△ 67	△ 50		
	がん	悪性新生物 入院患者数	人	770	495	480	565	638	539	△ 275	△ 44		
		悪性新生物 手術例数	件	210	117	155	158	173	164	△ 93	△ 47		
		外来化学療法件数(延べ)	件	420	306	395	433	468	384	△ 114	△ 78		
		緩和ケア病棟の設置		R4年度設置	病棟改修完了 (R5.4開設)	検討中	検討中	検討着手	—	—	—		
	脳卒中(脳血管疾患)	常勤医師数(年度末)	人	1	0	0	0	0	0	△ 1	0		
	糖尿病	糖尿病 入院患者数	人	70	0	0	0	60	60	△ 70	△ 60		
		糖尿病透析予防指導 患者数	人	50	17	39	33	24	23	△ 33	△ 6		
	災害時医療	DMAT訓練・研修 参加回数	回	5	5	4	2	7	7	0	△ 2		
		院内訓練・研修 開催回数	回	3	3	1	1	0	3	0	0		
	周産期医療	産婦人科 新入院患者数	人	※ 500	440	443	444	459	425	△ 60	15		
		地域分娩貢献率	%	33.0	28.6	29.9	29.5	32.7	33.3	△ 4.4	△ 4.7		
	小児医療	小児科 新入院患者数	人	※ 380	149	233	199	520	596	△ 231	△ 447		
		小児科平日夜間診療患者数	人	※ 900	399	508	55	1,235	1,291	△ 501	△ 892		
		小児科救急車受入患者数	人	※ 150	26	18	27	184	154	△ 124	△ 128		
	在宅医療	在宅医療患者数(月当たり)	人/月	40	29	32	30	31	21	△ 11	8		
		訪問診療件数	件	270	255	200	311	233	152	△ 15	103		
		訪問看護件数	件	2,000	1,619	1,922	2,189	2,420	2,377	△ 381	△ 758		
		訪問看護ステーション連携件数	件	10	27	7	8	8	—	17	—		
	腎疾患・透析医療	CKD(慢性腎臓病)紹介数	件	100	68	62	65	81	67	△ 32	1		
		腎生検件数	件	40	21	32	31	25	30	△ 19	△ 9		
		腹膜透析 新規導入率	%	30.0	32.4	26.8	30.9	23.1	26.7	2.4	5.7		
	感染症医療	体制の整備		・感染管理認定看護師2名 ・感染制御認定薬剤師1名 ・職員研修の拡大	・感染管理認定看護師 2名	・感染管理認定看護師1名	・感染管理認定看護師1名	・感染管理認定看護師1名	・感染管理認定看護師1名	—	—		
		研修・訓練数	回	12	17	2	1	28	11	5	6		
	2) 医療連携の推進	紹介率・逆紹介率の推進	紹介率	%	60.0	60.3	57.7	57.0	51.0	45.5	0.3	14.8	
			逆紹介率	%	80.0	92.4	88.1	87.4	80.0	71.8	12.4	20.6	
		医療従事者に対する研修会の充実	研修会 開催数	回	35	48	46	28	24	24	13	24	
			研修会 院外参加者数(延べ)	人(延べ)	500	560	545	208	350	286	60	274	
		交流の促進(医師等の訪問)	訪問件数	件(延べ)	※ 90	121	43	29	111	86	31	35	
		(3)地域包括ケアシステムの構築に向けた役割											
	1) 介護との連携強化		介護支援等連携指導件数	件	1,800	874	885	930	1,085	1,037	△ 926	△ 163	
			介護施設を対象とした研修会等	回	10	14	3	2	0	0	4	14	
2) 予防医療の充実	健診、がん検診、人間ドックの実施	健康診断	件	150	253	172	121	59	47	103	206		
		がん検診(乳がん)	件	60	24	24	12	44	13	△ 36	11		
		がん検診(子宮頸がん)	件	40	19	13	5	23	25	△ 21	△ 6		
		人間ドック	体制	再開	—	—	—	—	—	—	—		
	生活習慣病予防に向けた取組	栄養指導件数(外来)	件	※ 550	273	378	451	466	399	△ 277	△ 126		
		栄養指導件数(入院)	件	※ 1,800	584	433	643	933	1,200	△ 1,216	△ 616		
		セミナー・講座 院外参加者数(延べ)	人	※ 225	196	46	43	179	172	△ 29	24		
	住民に対する健康講座の充実	講座 開催数	回	※ 25	16	10	8	23	16	△ 9	0		
		講座 院外参加者数(延べ)	人(延べ)	※ 450	199	87	71	482	300	△ 251	△ 101		

達成率:27.1%(目標指標の項目数:48項目、達成項目数:13項目)

(参考:中期目標を達成できなかったが、H30年度より改善した項目数:11項目)

Ⅱ 三方よしの病院運営 ～患者によし、住民によし、病院によし～												
項目		目標指標	単位	目標値 (※:見直し後)	実績値				H30年度 (参考)	R4年度実績値との差		
					R4年度	R3年度	R2年度	R元年度		目標値	H30年度	
(1)良質で安全安心な医療												
1) 医療の質の向上		クリニカルパス使用率(患者数)	%	60.0	38.3	46.8	38.7	40.5	43.0	△ 21.7	△ 4.7	
		平均在院日数(急性期)	日	12.0	13.1	12.6	12.6	12.5	12.0	1.1	1.1	
		再入院率(7日以内)	%	1.5	0.9	0.9	1.3	1.4	1.5	△ 0.6	△ 0.6	
		病院機能評価の認定更新		更新	認定中	認定中	認定中	期中確認	認定中	－	－	
2) 医療安全対策		インシデント報告数	件	1,200	1,115	1,075	1,646	1,486	1,031	△ 85	84	
		医療安全研修 参加加者数(延べ)	人	1,000	1,336	1,574	962	980	893	336	443	
		医療安全管理者認定数	件	10	12	11	10	7	5	2	7	
(2)患者満足度の向上												
1) 患者に寄り添った医療		医療相談件数	件	400	1,162	1,129	754	294	267	762	895	
		支払相談件数	件	120	46	49	50	70	59	△ 74	△ 13	
		クレーム対応件数	件	50	38	35	47	50	67	△ 12	△ 29	
2) 患者サービスの充実		患者満足度(外来)	%	98.0	未実施	未実施	未実施	未実施	96.6	－	－	
		患者満足度(入院)	%	98.0	93.0	91.1	92.0	未実施	97.2	△ 5.0	△ 4.2	
(3)人材の確保・育成												
1) 医師、その他職員の確保対策		常勤医師数(年度末)	人	41	39	40	36	34	32	△ 2	7	
		初期臨床研修医数(基幹型)	人	2	1	2	2	2	1	△ 1	0	
		初期臨床研修医数(協力型・地域医療)	人	15	13	11	11	12	11	△ 2	2	
2) 職員の教育研修の推進		論文発表件数	件	10	3	3	3	1	4	△ 7	△ 1	
		学会発表件数	件	70	12	15	12	38	47	△ 58	△ 35	
		学会・研修参加者数	件	※ ー	ー	ー	174	416	362	ー	ー	
		認定資格取得者数(延べ)	人	67	70	68	60	60	60	3	10	
3) 働き方改革の推進		時間外労働の上限水準を超える医師数 (月100時間または年960時間)	人	0	3	5	12	15	16	3.0	△ 13.0	
		職員の平均有給休暇取得日数(全体)	日	15.0	13.8	14.0	12.2	11.8	12.1	△ 1.2	1.7	
(4)施設・設備の充実												
1) 施設改修		主要計画		・産婦人科病棟の個室化 ・緩和ケア病棟の設置	・緩和ケア病棟の改修 など	・緩和ケア病棟の設計 など	・緩和ケア病棟の整備方針の 検討 など	・産婦人科病棟の個室化 など		－	－	
2) 設備整備		主要計画		・電子カルテ更新 ・MRIの更新	電子カルテの更新 高周波電気手術器、超音 波画像診断装置 など	超音波画像診断装置、ネー ザルハイフロー、3次元画像 解析システム など	検温サーモカメラ、ポータブ ルX線撮影装置、気管支用ビ デオスコープシステム など	デジタルX線TVシステム、 内視鏡カメラシステム、白内 障・硝子体手術装置 など		－	－	
(5)経営の効率化												
1) 目標管理の拡大・拡充	目標管理の拡大・拡充	目標管理の実施率(部署単位)	%	100.0	100.0	100.0	100.0	37.5	37.5	0.0	62.5	
		医業収支比率	%	※ 88.1	82.9	85.9	81.7	94.8	93.5	△ 5.2	△ 10.6	
		経常収支比率	%	※ 97.4	109.7	114.9	110.8	100.2	100.1	12.3	9.6	
2) 健全で自立した病院経営の推進	収益増加・費用削減	新入院患者数	人	※ 4,548	3,535	3,569	3,740	4,392	4,704	△ 1,013	△ 1,169	
		病床利用率	%	※ 59.9	44.0	46.5	47.0	54.8	57.3	△ 15.9	△ 13.3	
		病床稼働率	%	※ 72.7	57.0	60.3	64.3	75.0	67.1	△ 15.7	△ 10.1	
		給与費対医業収益比率	%	※ 59.8	65.3	65.2	68.7	56.9	57.2	5.5	8.1	
		材料費対医業収益比率	%	※ 20.1	19.2	18.6	19.4	19.3	17.7	△ 0.9	1.5	
		委託費対医業収益比率	%	※ 14.1	15.1	13.9	14.4	12.6	13.2	1.0	1.9	
		後発医薬品使用率	%	85.0%以上	89.4	90.1	88.1	88.3	88.1	4.4	1.3	
(6)住民とともに築く病院運営												
1) 病院運営の住民参加		ボランティア登録者数	人	5	2	0	0		1	△ 3	1	
		ボランティア企画数	回	5	0	0	0	1	2	△ 5	△ 2	
2) 情報発信の強化		ホームページアクセス数	件/月	11,000	18,903	19,572	19,438	12,766	8,402	7,903	10,501	
		市民公開講座 参加者数	人	※ 130	中止	中止	中止	82	79	－	－	
		病院まつりの開催	実施年度	開催	－	－	－	－	－	－	－	
(7)職員満足度の向上												
1) 人事評価と処遇		人事評価制度導入(医師)	実施年度	本格導入(処遇へ反映)	中止	中止	中止	試行中	試行中	－	－	
		人事評価制度導入(医師以外)	実施年度	試行導入	－	－	－	－	－	－	－	
2) 職場環境の充実		職員満足度調査	%	80.0%	未実施	未実施	未実施	未実施	－	－	－	

達成率:27.5%(目標指標の項目数:40項目、達成項目数:11項目)
(参考:中期目標を達成できなかったが、H30年度より改善した項目数:9項目)

Ⅲ ウィズコロナの病院運営 ～持続可能な経営に向けて～											
項目		目標指標	単位	目標値 (※:見直し後)	実績値				H30年度 (参考)	R4年度実績値との差	
					R4年度	R3年度	R2年度	R元年度		目標値	H30年度
(3)復興に向けた対策											
1) 復興目標		1日あたり入院患者数	人/日	183	150	159	157	183	191	△ 33	△ 41

達成率:0.0%(目標指標の項目数:1項目、達成項目数:0項目)

Ⅳ 再編・ネットワーク化											
(指標なし)											

第3期中期事業計画 収支計画の実績

1 収益的収支

(単位:千円、消費税抜き)						
年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (見込)
区分						
	1 医業収益	a	5,019,397	5,065,397	4,392,174	4,553,695
	入院収益		3,264,965	3,208,453	2,662,972	2,822,698
	外来収益		1,522,170	1,630,307	1,500,363	1,474,140
	その他医業収益		232,261	226,637	228,839	256,856
	2 医業外収益		610,234	554,935	1,846,950	1,834,030
	受取利息		0	0	0	0
	他会計負担金		174,198	141,186	158,747	78,740
	他会計補助金		178,589	187,118	214,063	136,980
	国県補助金		11,197	11,578	1,247,712	1,418,032
	その他医業外収益		19,801	21,264	42,454	25,501
	長期前受金戻入		223,429	183,163	182,294	172,023
	引当金戻入益		3,019	10,627	1,680	2,754
	経常収益 A (1+2)		5,629,631	5,620,333	6,239,124	6,387,725
	3 特別利益		235,769	241,018	179,034	15,050
	固定資産売却益		0	0	0	0
	過年度損益修正益		4,856	7,551	3,885	11,917
	その他特別利益		230,912	233,467	175,148	3,132
	病院事業収益 B (1+2+3)		5,865,399	5,861,351	6,418,158	6,402,775
	4 医業費用	b	5,370,837	5,340,700	5,377,225	5,300,803
	給与費	c	2,872,513	2,881,526	3,017,644	2,971,243
	交際費		843	582	404	434
	材料費		886,203	977,793	853,526	845,743
	経費		1,239,545	1,176,146	1,225,987	1,195,614
	減価償却費		338,864	271,390	251,828	254,965
	資産減耗費		11,457	11,601	17,485	8,918
	研究研修費		21,412	21,661	10,350	23,886
	5 医業外費用		250,461	271,089	255,996	256,376
	支払利息		91,322	82,360	73,439	64,349
	雑損失		159,138	188,729	182,557	192,028
	経常費用 C (4+5)		5,621,297	5,611,789	5,633,220	5,557,179
	6 特別損失		115,152	75,924	232,875	70,994
	固定資産売却損		0	0	0	0
	過年度損益修正損		115,152	75,924	116,643	68,152
	その他特別損失		0	0	116,232	2,842
	病院事業費用 D (4+5+6)		5,736,449	5,687,713	5,866,096	5,628,173
医業収支 (医業収益－医業費用)			△ 351,440	△ 275,303	△ 985,050	△ 747,108
医業収支比率 (医業収益 a÷医業費用 b)			93.5 %	94.8 %	81.7 %	85.9 %
経常収支 (経常収益A－経常費用C)			8,333	8,544	605,904	830,546
経常収支比率 (経常収益 A÷経常費用 C)			100.1 %	100.2 %	110.8 %	114.9 %
収益的収支 (病院事業収益B－病院事業費用D)			128,950	173,637	552,062	774,602
累積欠損金(利益剰余金)			△ 913,369	△ 739,731	△ 187,669	586,933
不良債務 E			△ 881,722	△ 773,139	△ 1,214,835	△ 1,868,139
資金不足比率 (不良債務 E÷医業収益 a)			△17.6%	△15.3%	△ 27.7 %	△ 41.0 %
資金不足比率 (不良債務 E÷医業収益 a)			△17.6%	△15.3%	△ 27.7 %	△ 48.9 %

2 算定条件(業務実績)

区 分		年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (見込)
入院	急性期	1人当たり入院診療収益	(円)	48,941	50,874	48,600	51,092	51,765
		延べ入院患者数	(人)	60,718	55,983	46,268	45,114	45,138
		病床稼働率(199床) ※1	(%)	69.3	76.9	63.7	62.1	60.3
	地域ケア包括	1人当たり入院診療収益	(円)	32,023	32,880	31,599	32,812	34,199
		延べ入院患者数	(人)	9,160	10,939	8,191	10,213	7,743
		病床稼働率(45床)	(%)	55.8	66.4	49.9	62.2	54.5
	緩和ケア	1人当たり入院診療収益	(円)	—	—	—	—	—
		延べ入院患者数	(人)	—	—	—	—	—
		病床稼働率(16床) ※2	(%)	—	—	—	—	—
	感染症ナ	1人当たり入院診療収益	(円)	—	38,094	55,976	66,026	76,639
		延べ入院患者数	(人)	—	19	2,778	2,766	2,050
		病床稼働率(20床) ※3	(%)	—	29.7	40.7	37.9	30.5
	合計	1人当たり入院診療収益	(円)	46,724	47,930	46,525	48,589	50,218
		延べ入院患者数	(人)	69,878	66,941	57,237	58,093	54,931
		病床稼働率(280床) ※R4年度	(%)	67.1	74.9	59.7	60.3	57.4
		病床利用率(313床) ※R4年度	(%)	57.3	60.5	45.9	46.5	45.1
外来	1人当たり外来診療収益	(円)	12,139	13,516	14,673	13,993	14,304	
	外来患者数	(人)	125,396	120,636	102,252	105,351	104,394	
年度末医師数			(人)	33	37	40	43	42

※1 平成31年3月から急性期病棟を1病棟休床(6階東病棟)したため、急性期の稼働病床数が244床から199床に減少。

※2 緩和ケア病棟:休床中の6階病棟45床を16床に改修して令和5年1月に開設予定(許可病床数は342床から313床に減少)。令和4年度は3か月間で算定。

※3 新型コロナウイルス感染症病棟:令和元年度は8床、令和2年4月に18床、6月25日から20床を確保。令和4年度は6か月間で算定。

3 資本的収支

(単位:千円)						
年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (見込)
区分						
資本的収入		636,779	661,104	573,974	663,171	1,333,777
	企業債	195,300	249,400	48,900	160,100	848,900
	他会計負担金	430,139	404,554	436,646	465,911	476,055
	補助金	11,340	7,150	65,759	37,160	8,822
	固定資産売却代金	0	0	22,669	0	0
資本的支出		880,259	847,374	780,265	921,312	1,659,814
	建設改良費	206,749	234,558	116,143	208,564	932,049
	建設改良費	39,274	49,392	32,708	3,100	331,637
	資産購入費	167,475	185,166	83,435	205,464	600,412
	企業債償還金	673,510	612,816	664,122	712,748	727,765
資本的収支 過不足額		△243,480	△ 186,270	△ 206,291	△ 258,141	△ 326,037

4 一般会計繰入金(再掲)の見通し

(単位:千円)						
年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (見込)
区分						
一般会計繰入金(負担区分別)		894,476	843,592	931,153	832,765	848,060
	企業債(病院建設費に該当する額)	375,923	375,923	375,923	375,923	375,923
	企業債(建設費分を除いた額)	115,160	83,612	109,745	132,938	136,951
	第1号経費に該当する額	239,583	242,224	271,615	279,011	250,884
	第2号経費に該当する額	163,810	141,833	173,870	44,893	84,302